



SSKUあまねだより

発行 特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会
〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷3-1-17
ヴェルドゥーラ・祖師谷102

編集 あまね共同作業所
〒239-0805 横須賀市舟倉1-12-1
TEL 046-833-4035 FAX 046-887-0678
2026年2月8日 第500号(頒価20円)



2回目のJDF能登支援に参加して — 能登が抱える課題 —

日本海側の寒波に伴う積雪の凄さについて連日テレビで報道がされています。1月18日(日)から1月24日(土)までの1週間、JDF能登半島地震支援センターにて、昨年5月に次いで2回目の能登支援に入りました。初日・視察の2日目は何とか曇り空でしたが、直接支援が始まる火曜日からは大寒波と降雪。三浦半島の温暖な気候に慣れ、雪道の運転等したことがない私にとって未知の体験でした。 JDF:日本障害フォーラム-Japan Disability Forum.

初日の視察のなかでは、5月の支援時には通行止めであった能登島のツインブリッジが片道通行であっても通ることができるようになっていました。輪島の施設や支援する利用者の方の仮設住宅にも寄りましたが、ポツンポツンと点在する中で、明日からの支援を遅れることなくできるのだろうかと非常に心配になりました。また、昨年5月には輪島市内で公費解体と紙が貼られているもの、そのままの状態の家屋が残っていたところが今回は、更地となっていました。公の資料では個人宅の公費解体は100%終了とのことですが、個人宅でない場所では傾斜している建物もあり、どれくらいの期間で元に戻るのか…とても気にかかるところです。

火曜日からは本格的に支援が開始されましたが、予報通り降雪。支援センターから駐車場までの間も新雪が積もりはじめ、最初は車に積もった雪を落とすところからはじめました。今回の支援は前回の施設支援(やなぎだハウス)と異なり、個人の方の通院や通所支援。前回支援したやなぎだハウスに入った支援スタッフの方からやなぎだハウスはすごい積雪で、雪かきの支援をしていると伺い、雪深い地域での生活が非常に大変であることを改めて感じました。

通院支援を担当した私は、まず輪島市にある仮設住宅がわからなくなり、事業所携帯でGoogleマップを作動させ無事につくことができました。そこから穴水市民病院や輪島市民病院までの通院、車中、お話を伺うと、「バスがなくタクシーを使うと膨大な費用が掛かるので、JDFの支援がありがたい」とのこと。私が運転していても慣れない雪道や降雪のなか、1時間近くかかる通院は緊張で疲労が募る中、ご自身の病気や、足の状態が悪い姉妹をつれての通院は、車がない方にとっては本当に大変だと実感しました。3月末にJDFの支援が終了したあと、地域の移動支援を実施しているところは1ヶ所しかなく、それまで費用が掛からなかったものが、当然ガソリン代の負担等が生じることは、経済的にきついことが容易に想像できます。



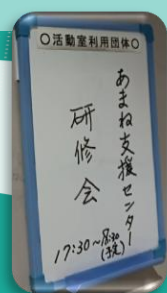
写真:夢かぼちゃ利用者の方たちと

横須賀市内でも移動支援事業所の撤退が相次ぎ、残った事業所もヘルパー不足等で撤退した事業所の利用者の方は受けられない状況になっています。相談事業所の方が何か所も電話かけしても受けてくれる事業所がなく、外の事業所に通所したいと思っても出来ない状況が生まれています。根っここの部分は奥能登地方で起こっていることと、何ら変わりはありません。根本的に事業が継続できる報酬にならない限り、人出の確保も出来ない状況が続いていくものと思います。

七尾支援学校輪島分校の生徒を放課後デイサービスに送迎する支援と、人出の足りない放課後デイサービスの支援に入る機会もいただきました。穴水町の学生はスクールバスに乗車できても、学校近くの利用者の方はスクールバスの利用が出来ず、JDFの支援のない日は放課後デイサービスの方が1時間以上の時間をかけて迎えに行き、送って行っている現状も見ると、放課後デイサービスが横須賀市内のように整備されておらず、働くお母様達がとても苦勞されていることが良く分かります。能登の支援を通じて福祉施策の脆弱さを実感した1週間でした。(海原・記)

あまね支援センター ヘルパー研修会 開催

2026年1月30日研修では、障害者支援の質向上とリスク管理について学びました。能登半島の移動支援の現状や虐待防止法、成年後見制度、労働災害の申請手続きがテーマとなり、具体的な対策が共有されました。支援者は安全な支援のため、行動を振り返り、利用者の状況に柔軟に対応することが求められています。



誰もがかけがえのない尊厳をもつ存在。

様々な考え方がある仲間のおもいを大切に。



賛助会にご協力をお願いします。

私たちは地域社会のなかで、障害のある仲間たちが豊かに安心して暮らせるように、障害があっても、住み慣れた、生まれ育った街で安心して暮らしていけるように、仕組みを考え支え合いながら、進んでまいります。

多くの皆様に法人の取り組みへのご理解をいただき、賛助会員として法人を支えるサポーターになっていただくことを願っています。賛助会費は税額控除の対象になります。

少しですが製品もプレゼント

・ 2月 予定

2月7日(土)～8日(日) よこすかフェスタ 10:00～18:00
文化会館市民ギャラリー(3F) 横須賀・三浦作業所連絡会になかまの絵画を展示します。

2月 13日 (金)

資源回収

(池田・岩戸)

2月 14日 (土)

資源回収

(舟倉・久比里・若宮台)

ふきんとお茶販売のお知らせ

きょうされんふきん
750円(3枚一組)



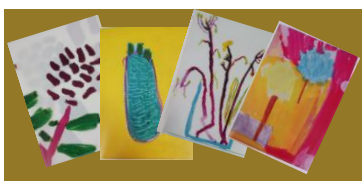
静岡県牧の原産やぶ北茶
1,000円(200g)です



ご注文はあまね共同作業所まで
☎046(835) 0723

なかま美術作品をモチーフにデザインされた商品ができました!
あまねオリジナル商品をぜひご購入ください。

販売場所:ともしびショップマリン(横須賀市役所内)・ワークハウスあまね



A4クリアファイル(4種 各350円全種セット1,200円)
A4トートバック(【黒・白】各2,200円)
サコッシュ(【ネ化】1,500円)

左から:クリアファイル
:トートバック
:サコッシュ

資源回収ご協力
ありがとうございます

12月実施分は14,185kg
奨励金は56,700円でした

次回日程は確認してください

ヘルパー募集

あなたの『笑顔の力』を試してみませんか

知的に障害のある方々が生活を楽しむためにサポートをするお仕事です。
移動や外出の同行、身体介護(入浴・更衣・トイレ介助)や生活援助(調理・洗濯・掃除)を行います。

【給与】時給 1300円

*8時迄と18時以降+325円 身体介護+200円

【時間】8:00～19:00 *都合の良い時間に1時間～OK

【資格】介護職員初任者研修(ヘルパー2級)

【待遇】交通費規程支給・処遇改善手当あり